

洲本地区だより No.34

平成 18 年 12 月 26 日
洋友会 洲本地区(事務所)
TEL&FAX 0799-23-9702
電話は火・木曜日の午前中

新年 あけましておめでとうございます！

会員の皆様にはますますご壮健にて新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃から洋友会活動にご協力とご支援を賜り、有難う御座います。平成 18 年は、会員の皆さんに活動状況をより身近に知ってもらえるよう、4 月から「洲本地区だより」に写真を多く入れてまいりました。又念願のホームページも開設できました。

新しい年は、更にクラブ活動の充実と低年層から高年層まで、何れかのクラブに参加できる様な新規クラブの立ち上げを進めていきたいと考えております。(例えば、グランドゴルフは会社のグランドを借用し、事務所でその成果を歓談し合う等)

洋友会洲本地区は会員が主役です。役員は世話役、会長は世話役代表としてお世話をさせてもらっています。皆さんからの電話やメールを受けることが役員のやり甲斐に繋がります。何かあれば気楽に申し付け下さい。

平成 19 年も更なる健康増進と維持に努められ、良き年になりますよう祈念し、新年のご挨拶とさせて戴きます。

洋友会洲本地区
会長 橋本 尚



歓迎！ 新しく3名の加入がありました。

(総会員数 84名)

川上 隆司さん(最終職場：SEC 貝塚(株))

- ・ 去る 1 月 20 日に定年退職しました。定年直近の 6 年近くは大阪の貝塚事業所に出向し、退職後は築 32 年の我が家のリフォームを自分でやったり、本職による屋根や外壁のやり替えをして、これからの人生の基盤造りに励んでいます。
- ・ 落ち着いたらやりたいことを漠然と考えていますが、「地区だより」を拝見しますと会員皆様の活発な活動や行動力には敬服しています。よろしくお願い致します。

新田 稔さん (最終職場：モバイルエナジーカンパニー システム電池部)

- ・ 1965 年(昭和 40 年 4 月)当時の洲本工場に入社し、42 年間(その間市販営業 10 年、製造 32 年)の勤務でした。
- ・ 本年 9 月 20 日をもって定年退職しました。退職後、今まで母や妻に任せきりであった家業の農業を手伝っております。今回、洋友会に参加させていただく事になりました。宜しく願いいたします。

野川 豊弘さん (最終職場：モバイルエナジーカンパニー 品質・CS・環境推進部)

- ・ 昭和 40 年 4 月に洲本工場に入社し、総務、経理、審査を経て環境推進部への勤務でした。趣味としてゴルフをやっていますが、親からの農地があるので、これからやっていこうかと考えています。洋友会の活動も参加していきたいので今後ともよろしくお願い致します。

■ 年の瀬を、忘年会で楽しみました！



＜記念写真：休暇村・南あわじの大広間にて＞

- 恒例の洲本地区・洋友会、平成 18 年度の忘年会を 12 月 15 日、ここ淡路島の「休暇村・南あわじ」で行いました。当日は、淡路島の内外から合計 38 名の会員が集い、日頃のご無沙汰を笑顔に変えて、互いの健康を讃えあいました。
 - 会場では、まず最初に橋本会長から挨拶がありました。特に、今回参加できなかった会員の中で、体力向上や健康改善に努めておられる方々の近況紹介がありました。また、今年は多くの新入会員があったので、当日出席された方を含め合計 9 名の紹介を行ない、全員の拍手で歓迎を致しました。
 - 乾杯の後、おいしいお酒と共に、休暇村の会席料理に舌鼓を打ち、旧交を深めた話に多いに花が咲き、貴重で有意義なひとときを過ごすことができました。
- ＜参加した方から、次の感想を戴きました＞

- ・一年ぶりです。皆さんの顔が見たくて参加しました。若い人が多くなりましたね。年齢層が広がって話が合わなくなる面もありますが、経験を伝えるという点で、また高年層の人たちと会えるのを楽しみにしています。(S.H さん)
- ・初めて参加しました。ご無沙汰していた色々な人と会えて良かったです。新しい人が増えたので、私も応援しますが、若年層から幹事のやる気のある人が出てくるといいですね。(Y.Y さん)

■ 会員の活動紹介

写真作品「夕景」で入賞を獲得！

(全日本写真連盟・淡路支部)

- ・今般、地区会員である村中公市さんが、新聞社が後援している写真クラブの活動で一席に入賞し、去る 11 月 10 日の朝日新聞・淡路版で紹介されました。
- ・優れた感覚が評価され、夫婦でよき趣味として取り組んでいる状況等、その活動振りをうかがいました。(つづく)

＜全日写連だより＞

一席に村中さん

9月例会

(評はいずれも関西本部委員野水正遡氏)

一席「夕景」 村中公市さん(淡路市)

「評」ちょうちんが夕日に揺れて、柔らかい影を落とし、路面に水をうつ女性とのコンビネーションがうまく調和して、花街かいわいの情緒を個性豊かに表現しています。(朝日新聞 11/10 付・原文のまま)



●入賞したこの写真は、どこで撮ったのですか。

・元々神戸の写真仲間に誘われて、妻と一緒に京都の四条にある「安井金比羅の櫛祭り」を撮影するのが目的でした。ところが肝心のこの祭りでは見物人が多いため、撮影どころでなかったため、四条河原町へ移り、料亭街に入ると開店前の情景がよかったので、パチリと撮りました。それで、「夕景」と名付けました。

●写真をやりだしたきっかけは何ですか。

・趣味として始めたのは、三洋エナジー鳥取へ出向してからです。朝日新聞の鳥取版に「女性の写真教室(鳥取支部)」の募集があって、先に妻が参加し、とても楽しかったので私も後日参加するようになりました。定年後帰省し、当地淡路支部での活動で現在に至っています。

●これからめざすものは何ですか。

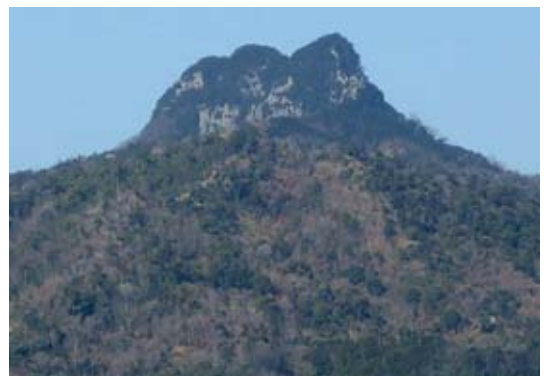
・夫婦で同じ趣味として楽しむと共に、「良い作品」を目指したいものです。残念ながら妻の方が良い作品が多いのですが、今回入賞できたという成果に自信を持って、さらにすぐれた作品づくりに努力をしていくつもりです。(了)

■クラブだより

香川県の、五剣山を歩いてきました！ (ウォーキングクラブ：大西良文さん記)

高松自動車道を西に向かって走っていると、高松市の少し手前の志度ICに差し掛かる辺りで右手前方に奇妙な形の山が見えます。丘の上に岩石を突き立てたような山塊には、何となくハイカーを引き付けるものがあります。標高は 376mで、先山と比べてかなり低い山です。この岩山の麓が、四国八十八ヶ所の第八十五番札所、八栗寺です。

久しぶりのウォーキングクラブ例会を、この山の徘徊と讃岐うどん満腹ツアーとして設定し、11/25(土)に開催しました。参加者は青海部長以下、橋本さん、廣瀬さんと私、大西の4名になりました。当日は曇りでしたが、気温、風とも平穏で、山歩きにはちょうどよい気象条件でした。



五剣山

洲本ICから高速に入り、高松道・志度ICで一般道に降ります。県道とR11を西に進み、JR八栗口駅を少し過ぎたところで右に進路を変え、八栗寺に向かって進みケーブルカー登山口駅前の駐車場に到着。ここで各々身支度を整えて出発。

登山口駅の横の鳥居をくぐり歩き始めます。このルートが表参道ということになっていて、八栗寺の少し手前までは、ややきつい坂ですが、自動車も走っています。途中ですれ違った中年カップルのお遍路さんと挨拶を交わし、雑談。大阪から来たそう。

八栗寺の山門の少し手前で右に折れて、ショートカットコースを辿って裏参道方向を目指します。本坊を過ぎて少し進むと登山路入り口です。案内板も目印もありませんが、きれいに下刈りされていて歩きやすいコースです。2〜3分進んだ辺りでコースは分岐しますが、左に進みます。さらに5分ほど進むと尾根筋に出て、左右に分岐します。左に折れて進みますが、さすがにこの辺は下刈りはされていなくて、膝まで伸びたシダを掻き分けて進みます。一面ウバメガシの薄暗い森のコース登ること10分ほど、突然森が途切れて視界が開けてきます。ここで周囲の景色を眺めながら1回目の小休止。曇っている割に遠くまで見渡せました。



登山路入口



ここから暫くはゴツゴツした岩場の、最初で最大の難所です。『三点支持』の鉄則を守りながら慎重に進みます。幅2mほどの馬ノ背のような尾根にロープと鉄骨の手すりが設けられています。両側は100mほどの切り立った崖になっていて、肝を冷やす場所ですが、このジサマ達は二階に上がる階段でも歩くようにヒョイヒョイ進んで行きます。何と元気で向こう見ずなジサマだこと・・・。

馬ノ背を過ぎると、一旦は崖道と梯子を下り最初の鞍部に出ます。狭い鞍部を過ぎると、次はほぼ垂直に立ち上がる10mほどの梯子が待っています。これも慎重にやり過ごし、いくつかの梯子やロープを辿って、この山塊の最高点376mに到着。山頂一帯はウバメガシに覆われて、視界は全く利きません。祠の脇で登頂記念の写真を撮って、休憩はカットして次に向かいます。

五剣山とはいうものの、現在辿れるのは4つまでです。最高点のピークが体力面では最もハードで、西に展開する残りのピークには梯子もなく、段々易しいコースになります。これら全てのピークに祠が設けられています。足早にコースを辿り、全てのピーク踏破を目指します。西の端のピークは森が途切れており、視界が開けています。



眼前には屋島の山塊が左右に大きく広がっています。麓には高松市外、更にその向こうには、お椀を伏せたような形のいい山がいくつも見えます。讃岐富士はどれだ？

ここでも休憩は省略して帰路につきました。来たコースを逆に辿って下山し、登山口近くのケーブルカー山頂駅前の、紅葉したイチョウの下でコーヒブレイク。本日2回目の休憩です。往復で2時間弱のウォーキングでしたが、運動量は結構大きかったです。

その後、八栗寺本堂に立ち寄り全員でお参りと記念撮影を済ませ、いよいよ次なる目標、讃岐うどんに挑戦(?)です。駐車場から少し下ったところに店を構える「うどん本陣・山田家」へ。旧家を改装したという立派な店構えで、結構大勢の客が入っていました。この店の一押しメニュー『釜ぶっかけ』を注文。大盛りを、との声も上がりましたが、店員の「量は結構多いですよ」の忠告に、簡単にビビって並盛りにトーンダウン。それでも、大変おいしゅうございました。(了)

■クラフたよい

手作り盆栽を楽しんでいます！

(園芸クラブ: 吉井 壤さん記)



- ・園芸クラブでは、今迄三熊山梅園の管理(剪定や堆肥等)を進めてきましたが、今回は盆栽を研究しました。写真は「長寿梅」を2本使った枯山水の作品です。長持ちしますが、更に春秋の樹木を使っていくと、一層楽しむ事ができます。
- ・来年は、会員の自宅を巡回して、淡路瓦を使った庭園づくりを計画しています。地場産業である淡路瓦は全国的に有名ですが、屋根以外のこういった用途にも、役立てたいと思っています。

三洋電機がんばれ！ 私たちも支えよう！

- 洲本地区・洋友会による SUPPORT SANYO (サポート・サンヨー) 運動の取り組みは、12月現在で、参加率が60.7%となり、金額は3,635万円となりました。
有難うございました。
- 最近では、「実は、先日購入しているのに忘れていて気がついた」という報告が多くありました。つきましては、既にご自身で購入済み(4月以降)や、親戚や知人に紹介したり、三洋グループの保険やインターネット(サンネット)回線を使用しているのに連絡ができていないような事はありませんか？
- そんな場合は、是非とも下記の洲本地区・洋友会事務所へお知らせ下さい。
(Tel&Fax:0799-23-9702 E-mail: yoyu-sumoto@sky.sannet.ne.jp)

ご案内:確定申告の説明会を行います。

- 来る3月の所得税確定申告の申請について、退職後初めての方を対象に説明会を予定しています。参加を希望される方は、下記の要領で行いますので、申し込みをして下さるようお願い致します。
- ・日 時：平成19年1月18日(木) 午前9時から
- ・場 所：洲本地区・洋友会事務所
- ・手持資料：医療費領収書、年金等の源泉徴収票、各種保険の控除証明書等

お願い

- 本部・会報誌「洋友」の春号が、来年3月末に発行されます。つきましては下記のテーマを中心に、投稿を募っていますので1月19日(金)迄に提出して下さい。
- ・テーマ：今こんな事をして暮らしています。(パートⅣ)
＜夫婦でこんな事をしながら＞・＜こんなもの(作品等)をつくって自慢＞、＜こんな家族(動物等)と＞・＜私のコレクション自慢＞
- ・文字数は2000字以内で、写真を添えて下さい。パソコンで作成される場合は電子メールで、また手書きの場合は、Faxでお送り下さい。
- ・送り先：Tel&Fax:0799-23-9702 E-mail: yoyu-sumoto@sky.sannet.ne.jp

お知らせ

- 洲本地区の事務所には下記の役員が詰めております。ご要望や相談のあるときはどうぞお越し下さい。(毎週火曜日と木曜日の午前中：Tel/Fax:0799-23-9702)

1/02	お休み	1/04	お休み	1/09	萩野・川野	1/11	役員会
1/16	山口(正)・山口(喜)	1/18	青海・廣瀬	1/23	近藤・橋本	1/25	阿部・藤本
1/30	小西・山崎	2/01	役員会	2/06	萩野・川野	2/08	金谷・原下
2/13	山口(正)・山口(喜)	2/15	青海・廣瀬	2/20	近藤・橋本	2/22	阿部・藤本
2/27	小西・山崎						